



地域がん診療連携拠点病院・基幹型臨床研修病院・協力型臨床研修病院・地域医療支援病院・災害拠点病院・熊本DMAT指定病院・救急指定病院

理念 135年の歴史と設立の経緯を忘れず全人医療を提供します

基本方針

患者中心医療

患者の人権と意思を尊重します

患者診療3本柱

がん・救急・予防医療を中心に
医療機能の充実を図ります

完結型医療

地域の医療機関との連携を行い
安心できる医療の展開を行います

社会貢献

災害医療派遣・医療情報公開・医療
ボランティアの活動を行います

医療人育成

医療に携わる喜びが持てる医療人の
育成を行います



撮影：2017.1.4 仕事はじめ

新年あけましておめでとうございます。

昨年は誰もが思いもなかった熊本地震という大災害に見舞われた大変な年でした。今年は大きな災害、事故、事件がない平穏で明るい年になることを祈念いたします。

さて、当院は本年、明治11年公立人吉病院として開院後139年、昭和22年国に移譲され、健康保険人吉総合病院となり70年、そして平成26年独立行政法人地域医療機能推進機構人吉医療センターとなり3年になります。病院の使命にもありますように病院の歴史と設立の経緯を思い起こし、人々が安心して暮らせるために、この地域でわれわれの果たす役割をみなさまと共に改めて考え地域医療構想、地域包括ケアに取り組みたいと思います。高齢化・人口減少が進む地方郡部において医療機能分担と医療介護の連携をさらに押し進め、地域のみなさまに安心した暮らしを提供できるように職員一同努めてまいる所存ですので、よろしくご協力とご支援をお願い申し上げます。

急性期医療を受け持つ医療機関として256列CTを導入

入します。検査時間の短縮・造影剤の少量化だけでなく最近注目されているDual Energy Imagingに対応しているため、高精度の画像診断が可能となります。循環器領域のみならず、すべての診療科でCT検査の目を見張る進化を感じることとなると期待しています。また、院内の電子カルテを入れ替えます。熊本県が進めているメディカルネットワークとともに医療のIT化により、チーム医療・医療連携をさらに進めていきたいと思っています。言うまでもなく医療器械やITも病院の機能向上に大切ですが、病院で働く職員が重要です。医師と共に医師以外のスタッフの教育・育成に力を入れ、世代間の切れ目のないチームを作り上げたいと思います。地域のみなさまが安心して受診される病院・ここあたまる病院づくりにまい進したいと思います。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

独立行政法人地域医療機能推進機構
人吉医療センター

院長 木村 正美

第2回 HMC 認定看護師研修会 開催

平成28年12月3日「地域看護への寄与、看護地域連携」を目的として、人吉医療センター認定看護師が講師となって2回目の研修会を開催しました。今回は、研修を大きく3つのチームに分け、希望の研修に地域の看護師の方々約20名に参加していただきました。

がん看護チーム（緩和ケア・がん性疼痛・がん化学療法・がん放射線療法）では「今日から始める緩和ケア」と題し、講義や事例検討などを行い、**患者を守るケアチーム**（感染管理・認知症・皮膚排泄ケア・糖尿病）では、認知症患者への対応を寸劇を通し学びを深めていただいたり、ポジショニングや感染予防、フットケアの実技などを行いました。また、**フィジカルアセスメントチーム**（手術・救急・集中ケア・脳卒中リハ）では、気道・呼吸・循環・意識のブースをグループで回り、それぞれの観察・アセスメント・処置について研修を行いました。

参加者からは、「半日で様々な振り返りができ、今まで頑張っ

てきたことの確認と、これから努力していかなければいけない点が改めてわかった。」「とても楽しく時間が過ぎた。できれば他のチームの研修も受けてみたい。」との意見をいただき、大変うれしく思いました。今回の研修も、各病院・施設における個々の実践に活かせるものになればと思います。

今後地域の皆様のご協力を得ながら研修会を継続・発展させていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

脳卒中リハビリテーション看護認定看護師 今田 泉



研修の様子

血管内視鏡検査について

当循環器内科では、虚血性心疾患などの患者様が多く来院され、心臓カテーテル検査や治療を展開しています。

我々が通常行っている心臓カテーテル検査は、冠動脈の血管内腔にカテーテルにより造影剤を注入し、X線撮影することで行っています。それに対して、血管内視鏡検査は、冠動脈内に内視鏡カテーテルを挿入し、血管内を直接観察することが可能です。

今回、血管内視鏡の権威である久留米大学循環器内科教授 上野 高史先生をお招きし、当院で実際に使用しました。



その1例を提示します。図1は8年前に左回旋枝に対し、第一世代の薬剤溶出ステントであるCypherステントを留置している症例です。冠動脈造影では、黄円のステント部に問題ないように見えます。



図1

しかしながら血管内視鏡を行ってみると、ステントのストラットが完全に露出しているのがわかります（図2）。血管内皮で被覆されていないので、2剤の抗血小板療法は、可能な限り継続する必要がありますと考えられます。



図2：ステントストラットの露出

このように血管内視鏡は、カラーで血管内の状態を直視下で観察できるため、ステントの周りのプラークや血管内の性状を確認し、血管内の評価を行うことができます。

当科では、外部の著名な先生をお招きし、循環器内科としてのレベルアップをはかっています。

今後とも地域医療のため地域の患者さんのために貢献できればと考えていますので宜しくお願いします。

循環器内科部長 中村 伸一

緩和ケア 出前講座を行いました

H28年11月24日に人吉保健センターで緩和ケア講座を行いました。

講師は、西村卓祐緩和ケアセンター長で、「緩和医療について」というテーマで、がんとは何か、がんの治療、全人的苦痛、苦痛緩和の方法、在宅緩和・在宅看取りについて講演されました。在宅看取りでは、余命わずかな患者が自宅に帰り、牛やペット、家族に囲まれ、好きな畑仕事をされ、2年8ヶ月間その人らしく過ごされ旅立たれた事例を紹介されました。西村センター長は、その間、患者さん、家族を訪問看護師と共に訪問診療で支え続けられました。緩和医療はチーム医療であり、みんなの協

力があれば、在宅緩和・在宅看取りも可能であることを強調されました。

講演終了後は、在宅リハビリ、在宅緩和、緩和ケア病棟についても質問があり、人吉保健センター、スタッフの方の意識の高さを感じました。

現在、日本は世界に例をみない超高齢社会、多死社会を迎えています。国の方針もあり、今後在宅緩和、在宅看取りが増えていくことが予測される中、在宅緩和、在宅看取りを広める一端となったと感じています。

緩和ケア認定看護師 上野明美

「私にできてあなたにはできないこともあり、あなたにできて私にはできないこともあります。しかし、共に力を合わせれば、何か素晴らしいことができるのです」

マザーテレサ

KEMAT in 人吉コース開催

平成28年12月23日、当院で『KEMAT in 人吉コース』が開催され、県内外より受講生16名、スタッフ35名の参加がありました。KEMATとはKumamoto Emergency Medical Assessment and Triageの略になり、熊本の救急隊が中心にコース設計及び運営を行っています。本コースは病院前の救急現場において「一見軽症に見えても実は緊急疾患」を見逃さないことを主眼としており、シミュレーションを通して観察・問診・伝達を実践して学んでいきます。詳しいコース内容については、KEMAT ホームページ (<http://kemat-qq.wixsite.com/kemat>) をご覧ください。



今回、参加者から受講の感想を頂きましたので、下記に掲載させていただきます。

研修見学という形で参加させて頂きました。講義やスタッフミーティングにも同席させて頂き、スタッフの膨大な準備と大いなる情熱をひしひしと感じました。

救命士の傷病者接触・問診・患者搬入要請の電話などは、研修医が行う診察や他科コンサルトに似ています。日々の救急外来の対応と重なる部分が多々あり、自分を反省するいい機会となりました。普段の自分がいかに解りにくいコンサルトで上級

医を悩ませているのかも分かりました。

救急救命士にスポットを当てたKEMAT研修でしたが、研修医としても得るものが非常に多く、有意義な1日でした。今後は他の研修医も誘ってみたいと思います。ありがとうございました。

臨床研修医 平賀 円

「軽症と思っていたら重症だった…」、救急外来を担当するようになり、よくこのような場面に遭遇します。そんな時もっと積極的に問診・観察が出来ていればと何度も感じます。

このコースに参加し、救急現場に必要な「知識・技術・臨床推論」を学ぶことが出来ました。私は看護師の立場から実際に遭遇し得る症例を想定し、シミュレーションを展開して行きました。実施後は直ちに医師・救命士・看護師からのフィードバック

を受けました。また、問診・身体所見・伝達要領等を学ぶことができ、医師への伝達方法も訓練できました。

今回経験させて頂いたことで、救急外来看護師としての役割を再確認でき、今後救急隊との情報を大切に、看護を行っていきたいと思います。

救急外来 看護師 吉本 ひとみ

KEMAT講習では、医師・関係スタッフの方々、大変ありがとうございました。他の消防職員、医療機関の方々といろんな意見を交わしながら、いい講習・訓練が行えたと思います。今回の講習では一見軽症と思うキーワードに惑わされず、現場での臨床推論から疾患を想起し、医療機関へ搬送することが大事という事を認識させられました。

また実技指導では、普段現場で行っていることを効率的に行

えるように、様々な問診技法を用いて情報収集し、医療機関が理解しやすい報告をすることが大事であることを学びました。講習を通して、救急に関する知識はもとより、このような内因性疾患の観察方法や医療機関への連絡方法を学べるコースはとても必要だと強く感じました。今後も現場活動や同僚への指導等に活かしていきたいです。

人吉下球磨消防組合 救急救命士 森田 好起

連携施設探訪 Vol.1

当院は、みなさんが住み慣れた地域で安心して生活していただけるよう、人吉・球磨地域の医療・福祉機関と連携して地域包括ケアを推進していきたいと考えています。

そこで、地域の社会資源を周知していただくため、連携施設をご紹介します。今回は「療養通所センター 愛生」さんです。

「療養通所センター 愛生」

【施設の特徴】

療養通所センター愛生は、平成22年9月に開設し今年で7年目を迎えます。当事業所は、難病などの中・重度要介護者やがん末期の利用者など、医療的観察・処置が必要な方を対象としています。1日6名の利用定員に対し、看護・介護職員合わせて7名で対応させていただき、アットホームで温かみのあるケアを心がけています。難病の方やがん末期の方で、外出することも困難だった方が、当事業所に通所されることで、社会的孤立感の解消や、身体的安楽を得ることが出来、また利用者家族の身体的・精神的負担の軽減を図ることを目的としています。

【サービス内容】

サービス内容として、入浴やお食事の提供はもちろんのこと、主治医や訪問看護師と連携しながら、人工呼吸器など医療機器の管理、吸引や褥瘡処置、リハビリやリラクゼーションなどを行います。

【地域の皆様に一言】

愛生会グループは、人吉球磨の地域包括ケア構築のため、様々な医療及び介護サービスを展開しています。当事業所もその一環として、地域の皆様の健康を守り、たとえ病気になったとしても、安心で安全な療養生活が送れるように努めてまいります。

詳しい内容をお聞きになりたい方は下記までご連絡ください。

【問い合わせ先】 療養通所センター 愛生 TEL: 0966-24-3888 (担当 入江)



介助浴室



休憩室

研修医挨拶

今年度の9月から12月にかけて、小児科・産婦人科・耳鼻咽喉科・救急部研修でお世話になりました。想像していた以上に救急患者が多く、限られたスタッフでの病院運営・地域医療のあり方等、非常に多くのことを学ばせて頂きました。

済生会時代、研修1年目の初日、最初の指導医から『自分に教えてあげられることは一つしかない。それは、自分が医者の仕事をやっているのは、看護師やその他の病院のスタッフのおかげであって、彼らがいないと医者は何にもできないって事だよ。』と言われました。その言葉を頭の片隅に置きつつ、あまり思い出すことも無いまま2年近く研修を続けてきました。

しかし、この人吉に来て、その言葉を思い出すことが多々ありました。特に産婦人科では、診察や入院管理、産後の処置に関して外来・病棟のスタッフの方に助けられ、教えていただくことが沢山ありました。救急外来での杉松さんとのディスカッションも、刺激的で楽しかったです。

未熟であり、かつ短期間しかいなかった私の名前を覚えて下さって、一緒に仕事をして下さって、心より感謝申し上げます。次にお会いできるときは、もっと成長した自分であるように、これから精進致します。寒い人吉で、皆様もご自愛ください。

済生会熊本病院 協力型研修医 伊東山 舞

熊本大学医学部 早期臨床社会体験実習Ⅲ

私は今回3年次の実習を人吉医療センターにおいてさせて頂きました。人吉医療センターを選んだのは、地域医療の実際を知るといよりも、「せっかく県内の病院で実習できるならば熊本市内から出てみよう。」という半ば観光気分の軽い気持ちからでした。

実習では朝8時半から5時すぎまで、一般外来・救急外来・病棟・オペ室などをバランスよく見学させて頂きました。一般外来や病棟で患者さんへの問診を見学したり、待合室において自分から患者さんとのコミュニケーションを図り、患者さん目線で医療を考えるという実習の目的はある程度果たせたと思います。

総合診療部の田浦先生には、今回の実習において5日間ご指導頂きました。先生は患者さんだけでなく、患者さん家族やそ

の日常生活に至るまで理解していらっしゃるいました。また、地域医療に対する考え方を伺う機会もありました。地域医療がこれからの高齢者に対する医療を作っていくという考えを伺い、私は今まで抱いていた地域医療の考えを改めました。今回の実習で田浦先生のような医師に会えてよかったです。

田浦先生や、直接ご指導して頂いた研修医の先生方をはじめとする医療センターの方々のおかげで、当初考えていた以上に有意義な実習ができたと思います。今回の実習を糧に今後も勉学に励んでいこうと思います。ありがとうございました。

熊本大学医学部 3年 中村太一



今回、私は「早期臨床社会体験実習Ⅲ」の一環として、5日間に渡り、人吉医療センターにて実習をさせていただきました。今回の実習は、以前までとは異なり、地域医療の現場を実際に体験することができ、また、様々な領域の医療を見学することができました。

特に、救急外来を見学したことによって、限られた時間と命とのせめぎ合いや切迫感を身に染みて感じるすることができました。

また、私は初めてオペ室にも入らせていただき、刺激を受けることが沢山ありました。

オペ室の入り方さえわからなかったにも関わらず、一つ一つ丁寧にゆっくりと様々なことを説明してくださり、貴重な経験をさせて下さった先生方、看護師の方々に深く感謝申し上げます。

訪問看護にも同行させていただきましたが、座学や講演会な

どでは真に理解したり、感じることでできない現場の実態を見学することができ、とても勉強になりました。

患者さんの気持ちや生活状況など様々な背景を考慮しつつ、病態の改善を目指すということがいかに難しいことであるかを改めて実感することができました。

5日間というとても短い期間ではありましたが、様々なことを学び、体験、見学することができ、より一層、学校での勉学に積極的に取り組み、いち早く臨床現場で活躍していけるような人材になりたいと強く感じました。

この度、他ではできない貴重な経験をさせて下さった先生方、多くの関係スタッフの方々に心よりお礼申し上げます。

熊本大学医学部医学科3年 金 潤実

第143回清流ハートクラブ（心臓リハビリテーション患者会）開催

12月22日に第143回清流ハートクラブが行われました。17名が参加され、減塩弁当（1食 650kcal 塩分 2.2g）を試食して頂きながら、座談会を行いました。

減塩をしながらも味気なさを感じない内容にするため、香味野菜の香り、出汁の旨み、種実類の香ばしさを生かしたメニューを提供しました。



参加者からは、しっかり味が付いており美味しいとの声が聞かれました。退院後、自宅での継続した塩分制限が難しい方もいらっしゃると思いますが、配布したレシピをもとに自宅でも取り組んで頂けるきっかけになればと思います。患者の皆さんの交流の場となり、様々なお話しができ、とても有意義な時間を過ごすことが出来ました。

栄養管理室 菰田衣里子



▼メニュー

白身魚のチリソース
焼き出し豆腐
チンゲン菜のごま酢和え
きのこの鰹和え
バナナケーキ

**木村 正美**

早いものであっという間に還暦です。平穏でよい年となりますように。また、職員が健康で病院がうまくいきますように。

**上野 明美**

4回目の年女を迎えました。院長と同じ日の生まれで得したことが(?) いっぱいありました。

**簗田 直子**

ケッコウ良い年だったと言える1年になるよう頑張りますので、よろしくお願いします。

**野田 秀幸**

今年も頑張るぞ!

**鎌村 里津子**

がんばります!!

**富尾 由美子**

今年もがんばります。

**川内 広美**

健康第一に一年間頑張ります。

**石井 潤**

ケガしない、病気しない、気にしない

**荒川 昌子**

孫が3人になりました

**大柿 尚美**

今年も健康で笑顔で元気に翔ばたきます。よろしくお付き合いください!

**草場 知佐**

やせます!

**田上 摩紀**

今年も頑張ります。

**浦川 将一**

体調に気を付けます

**柳瀬 康世**

現状維持でがんばります。

**濱田 由香梨**

「飛べない豚はただの豚」にならないよう身も心も引き締めて頑張りたいと思います!

**藤崎 順一**

今年も一年がんばります。

**樋口 真規子**

今年も絶好鳥な年にしたいです!!

**米永 和真**

今年も頑張ります。

**岡留 一雄**

ありがとうございました。

**中村 利枝**

仕事と子育ての両立、頑張ります。

**小崎 麗子**

楽しいことをみつけて頑張ります。

**木下 恵美**

日々精進できるよう頑張ります。

**愛瀬 友見**

今年こそ木を植えたいです!

**新村 亜耶**

今年は女子力をあげ、淑やかに仕事ができるようにしたいです

**益田 富貴子**

頑張ります

**寺井 香奈**

元気に、明るく、楽しく、一生懸命頑張ります。

**溝辺 陽子**

現状維持で頑張ります。

**堀之内 誠**

子どものために頑張ります

**尾方 三予**

子育て・仕事がんばります。

**小田 薫子**

2017 年もパワー全開! 笑顔を忘れず一生懸命頑張ります!!

**郡 桃伽**

今年も仕事一生懸命がんばります!!

**久保田 光昭**

今年は頑張って5kg痩せます

**高岡 大記**

仕事も頑張りたい、いろいろなことに挑戦したいです。

**徳永 さやか**

自分にできる仕事を一生懸命頑張ります。

**蔵座 眞耶**

今年も日々の仕事を頑張っていきたいです。

**岩崎 李歩**

日々成長していけるよう、頑張ります。

**高橋 佳奈**

今年も、仕事を一生懸命頑張ります。

**矢野 晃基**

一生懸命頑張ります。今年もよろしくお願いします。

**亀澤 美奈**

仕事を頑張ります

**川辺 舞**

今年は貯金をがんばります!

**坂本 純輝**

成長できる一年になるよう、1日1日を大切に頑張ります。

**藤本 みつき**

ひとつひとつ出来る事を増やし、日々精進していこうと思います。今年もよろしくお願いします。

【栄養豊かなおせち料理】

新年あけましておめでとうございます。

当院では患者様に少しでも気分を味わっていただけるよう毎年元日にはおせち料理の提供を行っています。朝食はお雑煮や祝肴、昼食は赤飯を始め、伊達巻き、紅白蒲鉾、有頭海老、鰯の照り焼き、若鳥八幡巻き、たたきごぼう等を折に詰め祝箸を添えて新年を祝います。

きざみ食の場合食材を細かくきざんであるため、箸で掴みにくい・歯に詰まりやすい・見ただけでは何の料理かわからない等の欠点があります。しかしきざみ食の方でもおせち料理を楽しんで頂けるよう「やわらか食」を使用し、味付けはもちろん見た目も良くなるよう工夫しました。

各々の食材や料理に込められた意味を感じながら食べていただけたのではないかと思います。

今後も患者様においしい食事を提供できるよう栄養管理室一丸となり取り組んでいきたいと思っています。

栄養管理室 室長 大岩 洋子



昼食 常食



昼食 きざみ食（やわらか食）

お知らせ と お願い

現在、インフルエンザなどの感染症が大変流行しております。

当院でも感染予防のため、来院される皆様へのマスクの着用・手指消毒のお願い、ならびに入院中の患者様へのご面会を制限させて頂いております。

大変ご迷惑をお掛けしますが、ご理解とご協力の程よろしくお願いいたします。



門松制作を行いました！

去る12月23日、今年で12回目となる毎年恒例の門松作りを行いました。

門松作りは元施設課職員の中村末太郎さんの指導のもと、我こそはと名乗りを上げた職員が一丸となり制作しております。

23日は小雨が降りとても寒い中での製作となりましたが、みなさん黙々と作業を行われていました。体の芯まで冷え切った後は、焼き牡蠣や豚汁などがふるまわれ体はポカポカ、心まで温くなりました。

24日に病院玄関前で組み立てと設置を行い、ご来院頂いた皆様楽しんで頂き年が明けて1月14日に撤去しました。

医療福祉連携室 小田 薫子



お知らせ 入札情報

当院では、下記の29年度契約を3月に予定しています。今後、ホームページ、院内インフォメーションボード等でお知らせ致しますので、参加希望者はご確認宜しくお願い致します。

経理課 契約係長 村山 純一

- ・病院警備業務委託
- ・院内清掃業務委託
- ・患者給食業務委託
- ・駐車場管理業務委託
- ・医事課業務委託
- ・白衣洗濯業務委託
- ・寝具設備賃貸
- ・産業廃棄物収集運搬処理業務委託（おむつ）
- ・産業廃棄物収集運搬処理業務委託（感染）
- ・エレベーター保守業務委託

お問い合わせ先：0966-22-2191（代表）

新 任 紹 介



おかざき たかひろ 岡崎 孝広（熊本大学 協力型臨床研修医）

最終卒業校：熊本大学

好きな言葉：Carpe diem

自分の性格：落ち着いているとよく言われます

自分のコマーシャル：3か月間、よろしくお願いします



おがた えみ 尾方 恵美（総務企画課・事務員）

最終卒業校：熊本商業高等学校

趣味：ヨガ、旅行

生活信条：感謝の心を忘れない

自分の性格：マイペース

自分のコマーシャル：人吉へ引っ越して半年です。常に笑顔を忘れず頑張ります。

1月の勉強会報告

1月12日(木)第91回消化器カンファレンス

「過去の画像データにより術前診断が可能となった傍十二指腸乳頭憩室結石イレウスの1例」

当院 臨床研修医 堀之内 誠先生

「80歳以上の腹部緊急手術症例の検討」

当院 外科 岡留 一雄先生